

～地域文化が息づく学校～

「久山町子ども会道德カルタ大会」が1月15日(日)に開催されました。静かな会場の中に響く読み手の声を、集中した表情で聴く子どもたちの一挙一動。それを見守り、支えてくださる地域・保護者の皆様。さらに運営されている育成会、道德推進委員会、アンビシャス運動の皆様。



昼休みにカルタに親しむ1年生

まさに「道德の町久山」で育てられた地域文化であると考えます。このすばらしい地域文化を学校の日常的に実践する場や機会を、久原の教育活動の一環としてさらに充実させてまいります。

「地域に学び」「地域とともに」前進する久原小学校は、地域文化が息づく学校としてさらに努力してまいります。どうぞ御支援・御協力を本年もよろしくお願い申し上げます。

次号では、「家庭科学習」をおして、価値ある地域文化の教材化について、「特集」でお伝えいたします



「次の学年につなぐ」目標を明確に『励めよ・磨け・いざ鍛え』

3学期は、1年間のまとめの学びの時期であると同時に、次の学年につなぐ大切な時期です。全ての学年で、学習の定着を確実にするために、補充学習の強化を行います。御家庭におかれましても、今一度『久原小学校の家庭学習』をご覧になり、集中して家庭学習ができますよう、御協力をお願いします。

- 全学年 月・木・金 「はげみ学習」週3回 14:25～14:40
- 1～4年のチャレンジタイム 2月8日、22日、3月7日
- 5・6年のチャレンジタイム 全7回(60分授業)
中学生・学校の最上級生となる5・6年を対象にしたチャレンジ学習は、実態に応じた4コースを全職員で受け持ちます。



体づくり 3学期は、全学年で「スポン広場」にチャレンジし記録を更新していきます。【県体育研究所の事業】

1月の行事予定

- 19日(木) 全学年標準学力テスト(国・算)
- 20日(金) 道德推進の日(給食)
学習参観日・PTA教育講演会
- 23日(月) 給食感謝集会
- 24日(火) 4年生社会科見学(県庁等)
- 25日(水) チャレンジタイム(1・2年) 教育相談
- 27日(金) 福岡地区家庭科教育研究大会
(会場:久原小)
- 30日(月) 久山中学校入学説明会
- 31日(火) 町学校人権全員研修会

2月の主な行事

- 2月1日(水) 開校記念集会
- 2月2日(木) 町福祉のつどい(3年生発表)
- 2月7日(火) 新1年生一日入学
- 2月15日(水) 5・6年糟屋区音楽交流会

3月の主な行事

- おわかれ集会 2日
- 平成23年度卒業式 3月16日(金)

4月の主な行事

- 平成24年度入学式 4月11日(水)

輝く久原っ子

「心をはたらかせる」ことによって、心をうきうきさせて大きく成長した様子が伝わります。「心を働かせて」ものごとに取り組むことの大切さを教えてくれる作文です。

わたしは、野菜を育てるのがにがてでした。でも校長先生や道脇先生から「大切なのは心」というのを教えてもらいました。わたしは「心」といふ言葉を道脇先生の言葉で「すごいなあ、まねしたいよ」と思いました。そこで、友だちといっしょに、水やりや草取りを毎日続けてみまわりました。毎日、毎日大きくなるやさいを見るのが、とても楽しいからです。これからはわたしは、「大切なやさいを育てる心」を忘れずに、やさいを育てていきたいです。

生活ではそうじもにがてでした。でも、いのちやんとあおいちゃんが、「いつしよにそうじをしよう」とさそってくれました。二人といっしょにもくもくそうじを一週間続けると、教室がピカピカになりました。わたしは大すきな教室がピカピカになるのを見て、「わあ、きれいだなあ。教室におれいできたなあ」と思いました。わたしは毎日心をこめたそうじを続けています。わたしは毎日心をこめたそうじをほんの少しのそうじ時間ですが、その時間だけでも大切にかんじました。これからもわたしが「心でそうじ」を続けていきたいです。

「心をはたらかせて」
久原小学校二年 堀 みはる

入選おめでとう

ドラえもん大賞作文コンクール
4年 樋口 大和

友だちとの心の交流を通して新しい発見と感動が描かれたすばらしい作文です。

辛いインフルエンザに罹患者は「0」です。引き続き、うがい・手洗い等による予防をよろしく申し上げます。

「地域文化が息づく学校(その2)」

前号では、「第31回久山町子ども会道徳カルタ大会」を通して「地域に学び」「地域とともに」生きる久原小学校の道徳教育についてお伝えいたしました。今回は、**価値ある地域文化の教材化「家庭科学習」編**について、特集でお伝えいたします。地域を知り、地域の方々とかかわることによって「地域で生きる」実感子どもは持ちます。この「地域で生きる」実感に支えられた学びが、「生きる力」の基盤となります。

～子どもの目が輝く授業～

必要感や目的意識を高める

「子どもの目が輝く授業」は、学びへの必要感や目的意識を、子どもたち自身がどこまで高めているかがポイントです。そこで、久山の地域文化(学校にとっては教育資源)の教材化が重要になります。第5・6学年の家庭科学習における地域文化の教材化の視点を、『感動・体験・変容』として、高学年チームが教材化した三つの題材をご紹介します。

- 「地域文化」は、学校の教育資源。
- 「地域文化」の教材化の3視点「感動・実践・変容」
- 「地域文化」教材化のダイジェスト版は、各学年の掲示板上に示しています。



5年1組「久山のみそ汁名人になろう」



作り手の願い・こだわりを知り
「久山健康味噌」を味わう

久山の米、福岡産の大豆を原料に、他の味噌に比べ、減塩で作ったこだわりの味噌。とくに温度管理と衛生面に気をつけて、愛情を込めて25年間作り続けている。この「本物の味」を、子どもたちから是非、味わってほしい。

地域の食の素材を生かし伝統的な日常食のよさが実感できる教材化を図ります。



久山農産加工グループ「わかば会」の皆さんの願いがこもった「久山のみそ汁」は、本当においしかった。家族のために、おいしい久山の味噌で、みそ汁をつくりたい。家族への思いを具材の選択、味噌の量等で工夫して実践していきたい。



「専門的な立場からの指導」

調理の知識・技能の定着とともに、栄養についての専門的立場からのアドバイスをいただき、家族の健康を考えた「マイレシビ」の完成を目指す。

5年2組「じょうずに使おう物やお金」



農産物直売所「ひさやま元気市」には、久山の野菜を求めて、近隣の市町から多くの方が訪れる。消費者が求める魅力は、「新鮮」「おいしさ」「特産品」「価格」等。野菜選びの視点をGTから学ぶ。

自分の生活を見つめ、社会の状況を見つめ、「賢い消費者」への道をめざします。

「ひさやま元気市」の野菜選びの視点から「賢い消費者」への階段を一つ登ることができた。次は自分の買い物計画を立て「賢い消費者」への道を極めたい。



「子ども新聞、図書館資料等の活用」

○自分の買い物の振り返り
○家族の買い物の調査
○日本経済・震災復興の現状調査
自分のこと、家族の買い物の振り返りや調査活動と併せて、今の日本経済の状況や東日本の震災の現状について調べることは、「賢い消費者」になるための出発点。

6年1組「伝えようありがとうの気持ち」



～学びの連続性～

「久山中学校丸ごと体験」を生かした中学校教諭との家庭科学習
【ミシンの技能の基礎・基本の定着】
久山中学校の手塚先生の専門性を生かした担任とのT・T学習(11月単元)の積み重ねで中学校での学びに繋がる力の定着

中学校家庭科教員と6年担任のT・T授業により、学びの連続性を図ります。

前単元で身に付けたミシン縫いの力や手縫いの力を最大限に生かして感謝の気持ちを伝える小物を作成し家族へおくりたい。そのために、地域の相良さんが示して下さった作品モデルから、基本形を選択し、さらに自分の工夫を加え完成させたい。



「地域の裁縫名人相良さんとの出会い」児童の既習学習生かし、作品完成の喜びを実感させたい。そのために、①提示するモデル作品の条件②スモールステップで自己評価しながら学ぶ場づくりの2点についてGTとの課題共有。